

◎議会報告会の開催にあたり、事前にいただいたご意見・ご提言を紹介します。

(各会場開催報告の中で掲載されたご意見・ご提言を除きます。)

ご意見・ご提言の要旨	議会回答要旨
<p>・成年後見制度について 成年後見制度や市民後見人協力連携の取組は、犯罪の防止(抑止)やセキュリティの向上に結び付くものであり、安全・安心なまちづくりに寄与するものである。その基盤となる成年後見センターの設立に尽力してほしいと思う。認識や意見をお聞きしたい。</p>	<p>・認知症や障害などにより判断能力が不十分な方々の日常生活を法律的に保護し、財産管理や各種契約をサポートする制度として成年後見制度がありますが、年々その重要性が高まっています。 ・成年後見センターの設立についてご提言いただきましたが、現在、担当課では、小矢部市・砺波市・南砺市の3市合同で成年後見センターの設立に向けて協議を進めているということです。 ・人的な面や予算上の問題などいろいろな課題があるため、今後とも慎重に協議を進めていくということでありましたので、ご理解いただきたいと思えます。</p>
<p>・学校給食について 現在の小矢部市の学校給食は、大変充実していると思う。米飯への移行も視野に入れてほしい。</p>	<p>・市民の皆さんと同様の認識のもと、米飯給食への移行について、一部の議員が当局に対して質問をしています。 ・当局の答弁では、パン食に比べ、米飯の方が単価が高いことによる給食費の高騰や、献立の偏り、炊飯会社の調理能力など、様々な問題があるということでした。 ・また、子どもたちの食生活が多様化しており、児童生徒の給食アンケートによると、週1回しかないパン食のメニューである揚げパンやソフト麺などを楽しみにしている子どもも多いということでもあります。 ・一方で、農業が基幹産業である本市にとって、全国的に米の消費量が減っているという現実は小さな問題ではないと思っています。 ・今後、教育委員会では、米飯給食に移行した場合の問題点を整理し、学校や児童生徒の要望も聞きながら実施の検討をしていきたいということです。議会としても注視していきたいと思っています。</p>